

ステージアップ

主な記事

- いにしへの技法を学んで新たな発見「テンペラ画教室」
- コーヒーと、おしゃべりと、安心感「喫茶 ほっと」
- 特集 自然×未来を感じる  
多摩川河口ウォーク

詳細・他

◆ 施設めぐり

- 大師河原水防センター  
(大師河原干潟館)  
多摩川河口には自然がいっぱい!
- KOSUGI iHUG コスギアイハグ  
「農・食・健康」でつながる場所

◆ 財団からのお知らせ

- 高津市民館・プラザ橘
- シニア向け無料開放デー  
夜間貸出 ほか



「Colors かわさき展」は、作者に障がいがあるか・ないかということにとらわれず、一つ一つの作品の魅力をダイレクトに感じてもらうことを目指す展覧会です。

障がいのあるなしに関わらず親しめる芸術文化活動の環境づくりに向けた「パラアート推進事業」の一環として、(公財)川崎市文化財団が年1回開催しています。



Colors かわさき 展より⑭

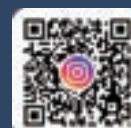
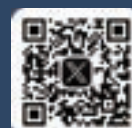
たかはし しゅうへい  
高橋 周平 「niu(にう)椰子の木」 アクリル絵の具  
ハワイで見た夕陽を描きました(本人)

発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28 番 41 号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

https://www.kpal.or.jp E-mail: stage-up@kpal.or.jp



## いにしへの技法を学んで新たな発見 「テンペラ画教室」



▲教室の様子

皆さんは黄金背景による「テンペラ画」をご存じですか。中世からルネサンス期にかけて、イタリアを中心に栄えた油絵以前の絵画技法で、顔料を卵黄で練り合わせて描きます。田崎裕子さんが30年以上前から指導している「テンペラ画教室」では、月2回の木曜日、麻生市民館の実習室で、現在7人が模写などを通して絵画技法を学んでいます。

### まばゆい輝きと歴史を今に伝える

テンペラ画の魅力の一つに、まばゆい美しさがあります。中世の絵画は宗教と深く関わり、絵に光を与えるため、金箔と絵の具を組み合わせ、装飾的な刻印など工芸的な技法が施されました。明るい発色に加え、経年による変色や劣化が少なく、数百年前に制作された作品でも、今日まで鮮明な色彩を保っています。

日本には、昭和53(1978)年に石原靖夫氏が卵黄テンペラ画を本格的に紹介し、田崎さんはその翌年から石原氏に師事した、いわば第1期生です。

彩色の美しさや伝統的表現の優雅さが特徴ですが、経験と時間が求められる“手順の絵画”であるため、様々な制約が生じます。今の時代では、そこに歴史的な背景が感じられ、とても新鮮な発見があると教室の皆さんは語ります。教室では、各人の完成した作品に合わせたイタリア古典額縁の制作、石膏板絵以外の羊皮紙写本の模写、さらには創作等、一人ひとりに合った丁寧な指導を行っています。

### 日本人のセンスに合う テンペラ画を広めたい

「テンペラ画は、日本人のセンスに合った絵画技法だと思います。金箔や金泥を使うことや、遠近法が発達する前の平面的な表現など、江戸時代の琳派(りんぱ)をはじめとする日本画と多くの共通点があります。油絵の発展により、世界ではほとんど継承されことなく今日に至っていますが、日本でテンペラ画の技法を継承していきたいです。いにしへの技法を学ぶことで、中世の美意識に触れ、絵画材料への理解を深める

などして、現代の絵画表現の幅がさらに広がるのではないかと期待しています」と話す田崎さん。テンペラ画を始めたいと考える人たちの助けになればと、平成29(2017)年に自身の作品と、卵黄テンペラで描く過程を紹介した本を出版しています。

最後に、「文章はいいから、写真をたくさん載せてね」という田崎さんのご要望に応え、生徒さんたちが取り組んでいるテンペラ画を一挙公開します!



「絵の素養がないからオリジナルの絵はかけないけど、技術を学んで模写をするというのはとても面白いです」



「友人宅にあった先生の作品に感動して、額縁に興味を持って始めましたが、今は模写のほうが好きになりました」



「一生懸命に描いた作品ですから、自分で作った額に入れるとじっくりきます。やはりとても良いです」



「予測しながら色を重ねて、出したい色を出します。経験とセンスがものを言うので、先生のご指導が必要です」



「テンペラ画を描きたくて教室を探して、こちらの教室を見つけました。鎌倉から習いに来ています」



「今は目を描いています。模写は顔が本当に難しく…。ちょっとの線の違いで、人相が全然違ってしまいます」

### 田崎裕子テンペラ画教室展 —模写と創作区—

期 間：令和7年11月15日(土)～20日(木)

会 場：Gallery Concept21

東京都港区北青山3-15-16

ぜひ会場で、完成した作品をご覧ください!

#### ■ テンペラ画教室

代表 田崎 裕子

ホームページ

<https://tempera-tasaki.jimdofree.com>

ご連絡はホームページの「お問い合わせ」から



## コーヒーと、おしゃべりと、安心感 「喫茶 ほっと」



「喫茶ほっと」は、高津区溝口の生活文化会館「てくのかわさき」2階にある、どこかほっとするような優しい雰囲気のカフェです。ここはNPO法人たかつdeほっとが運営する地域活動支援センターで、喫茶部と製菓部があり、精神障害など生きづらさを抱えた方たちが自分らしく働き、憩い、集う場所となっています。開設は1996(平成8)年。当時、精神障害のある人が安心して集える場があまりなく、「地域にそういう場が必要だ」との声に応える形で生まれました。

### 自分らしくいられる働き方を

「障害のある方が働こうとしても、今よりもずっと選択肢の少ない時代でした」と語るのは、喫茶ほっと施設長の喜納辰洋(きな たつひろ)さん。開設当初はあくまでも訓練の場、一般就労を目指すステップとして運営されていたそうです。しかし、喜納さんが入職し支援を続ける中で、少しずつ目指す方向が変化していきます。「就労がゴールじゃない。その人が無理なく、その人らしくいられることのほうが大事です」。そう話す喜納さん自身も、うつ病や不安神経症を経験し、再発もあったといいます。その経験から、「誰にとっても、自分に合った働き方やペースを見つけることが大事。障害のある人はそのストライクゾーンが狭いから、自分に合う働き方が見つかりにくいだけなのです」と、丁寧に言葉を選びながら語ってくれました。

#### ほっと喫茶部

ケーキと食事が楽しめます。ランチメニューの人気はナポリタン! ぜひその味を確かめに行ってみてくださいね。

#### ほっと製菓部

喫茶ほっとで販売しているお菓子は、全てほっと製菓部で作られています。素材にこだわった、手作りの優しい味わいが好評です。



## 仕事は人と人がつながるツール

喫茶ほっとでは、「人を仕事に合わせる」のではなく、「仕事を人に合わせる」ことを大切にしています。

「お皿を洗うだけでもいい」「週3日くらいがちょうどいい」といった、個々の個性(または特性)や体調に寄り添った働き方が尊重されています。

もちろん、頑張ることを否定しているわけではありません。仕事を通じて人と人が関わることの大切さを、喜納さんたちは実感しています。「人って、孤独が一番つらい。精神の障害がある方は、特に人との関係に不安を抱えている方が多い。でも、「仕事」というミッションがあれば、自然に人との関係ができていくのです」。コロナ禍で営業が止まり、代わりに開催したお茶会やゲームの会には参加しないメンバーがいたことから、「仕事があること」がつながりを作るための大きな助けになると改めて感じたといいます。

### “人それぞれでいい”を応援

喫茶ほっとでは、「当事者研究」と呼ばれるユニークな取り組みも行われています。これは、生きづらさを抱える当事者自身が、自分の体験や困りごとを言葉にして仲間と共に「自分の助け方」を研究し、互いに理解しようとする活動です。ここでは、深刻さだけではない、ある種の“おかしみ”や“おもしろがり”を交えながら「研究」し、他者と思いを共有し、少しでも生きやすくなるヒントを探っていきます。「心の病気や障害は見えにくいからこそ、言葉にしてみる価値がある。語ることに意味があるし、『私だけじゃないんだ!』と安心することもある」といいます。普段の研究会は喫茶ほっとのメンバーで実施していますが、どなたでも参加できるオープン研究会も月1回程度開催しています。

それぞれが自分のペースで働き、ときに立ち止まりながらも、笑い合い、支え合う。「できること」を積み重ね、「ここに居ていい」と思える場所をメンバーとスタッフが一緒に作り上げている「喫茶ほっと」。ほっと一息つきたいなというとき、あなたも訪れてみてはいかがでしょうか。



#### ■ 喫茶 ほっと

〒213-0001

高津区溝口1-6-10 てくのかわさき2階

電話 044-812-1147

ホームページ <https://kissa-hot.jimdofree.com>





# 自然×未来を感じる 多摩川河口ウォーク

豊かな干潟の自然が息づく多摩川河口を歩き、最先端の研究施設が集まるキングスカイフロントを抜けて、空へ伸びる多摩川スカイブリッジへ。川と人とまちの未来を感じる、川崎側からのウォーキング。約5キロ、2時間ほどの道のりです。お出かけの際には十分な暑さ対策を！

## 1 「富士製鋼株式会社発祥の地」記念碑



製鋼、鋳鍛造(ちゅうたんぞう)と諸機械の製造を目的とした富士製鋼株式会社が、大正 6(1917)年 11 月 30 日に誕生した地に、昭和 57(1982)年、当時の新日本製鐵株式会社取締役名譽会長が建立した記念碑。

## 2 天台宗千蔵寺(せんぞうじ)



地元では清宝院とも呼ばれています。本尊は「厄神鬼王」、のみと小槌で病根を削り取り厄災を払ってくれる、インドに伝わる熱病除けの神です。節分では「鬼は内、福は外」と豆をまき、悪い鬼を改心させて良い鬼にして世の中に送り出すといひます。お寺ですが、柏手を打ってお参りします。

## 3 大師の渡し跡



明治 10(1877)年に新設され、「新渡し」とも呼ばれました。羽田と結んで、対岸へ耕作に行くための渡しとして地元の人たちに利用されるほか、穴守稲荷、川崎大師の参詣客を乗せる「大師の早船」も運行されました。

## 5 大師橋橋詰広場



昭和 14(1939)年に旧大師橋が建設され、「羽田の渡し」と「大師の渡し」は廃止されました。渋滞の恒常化、老朽化のために現在の橋にかけ替えられましたが、優雅な曲線の景観から名橋と言われた旧大師橋を記念して、両岸に親柱が保存されています。

## 6 羽田の渡し跡



古くから羽田漁師町と上殿町を結ぶ渡しがあり、地元では「六左衛門の渡し」と呼ばれました。川崎大師参詣、穴守稲荷神社参拝にも使われました。

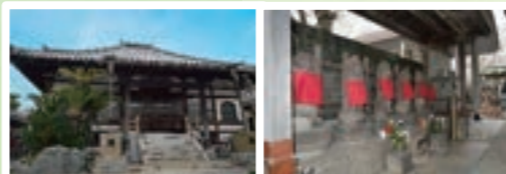
## 7 水神社



ご祭神は飲用水、灌漑(かんがい)用水をつかさどる神です。

## 8 法榮寺

天台宗寺院の青龍山稲光院法榮寺は水神社の別当。本尊は秘仏といわれる薬師如来坐像、寺域には享保元(1716)年造立とされる六地藏が祀られています。



## 9 殿町第2公園



“地球にやさしいホテル・まちにやさしいホテル・ひとにやさしいホテル”を目指し、世界初の水素ホテル、CO<sub>2</sub>フリーの電力を使ったリーフレタス栽培、食品リサイクルの導入など、さまざまな取り組みを行っています。

## 10 川崎キングスカイフロント 東急 REI ホテル



## 殿町国際戦略拠点 キングスカイフロント



世界的な成長が見込まれるライフサイエンス・環境分野を中心に、世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点。「キング(KING)」は、「Kawasaki INnovation Gateway」の頭文字と「殿町」の地名に由来しています。「スカイフロント(SKYFRONT)」は、羽田空港の目の前という立地や、このエリアが世界につながっていることを表しています。

健康・医療・福祉、環境といった、世界が直面している課題の解決に貢献するとともに、この分野でのグローバルビジネスを生み出すことで、日本の成長戦略の一翼を担います。未来が変わる研究開発が川崎で行われているのです。ワクワクしますね！



▲スカイブリッジの上から見た、干潟とキングスカイフロント

## 多摩川スカイブリッジ



川崎市と東京都が共同で整備を行った川崎市殿町地区(キングスカイフロント)と羽田空港(羽田グローバルウイングズ)をつなぐ「多摩川スカイブリッジ」は、令和 4 (2022)年 3 月 12 日に開通しました。歩行者や自転車も安全に渡ることができます。



4 大師河原水防センター(大師河原干潟館)  
6ページの施設めぐりをご覧ください。



▲春の多摩川沿いは花いっぱいの散歩道。(川崎大師ロータリークラブが昭和52年に桜を植樹)

# 大師河原水防センター(大師河原干潟館)

ひがた

京急大師線「東門前駅」下車  
徒歩約7分



## 多摩川河口には自然がいっぱい!

川崎区が多摩川沿いにある「大師河原干潟館」は、洪水対応のための国の施設「大師河原水防センター」の一角に設けられた、平常時の環境学習施設です。NPO 法人多摩川干潟ネットワークが川崎市と協働で運営しており、地域の自然や防災について学ぶことができます。

干潟館の中心活動は、環境学習と防災学習。以前は別々に考えられていた両者ですが、佐川麻理子理事長は「災害も自然が起こすもの。自然を知らなければ対応できない」と語ります。たとえば川の水が急に増えたり、空が暗くなって雷が近づいたり——そうしたきざしを見きわめる力を育てるために、日ごろから自然に目を向けることが大切だといいます。

環境学習は年間5,000~6,000人を受け入れ、学校(主に小中学校。高校、大学も)やボーイスカウト、子ども会などが利用しています。一般向けに、干潟の自然を直接体験できる「だいし水辺の楽校(がっこう)」を展開中。干潟観察や自由研究といったプログラムを通じて、子どもたちは自然の変化や命の営みに触れ、五感(目・耳・鼻・舌・皮膚)を使って学びを深めているようです。

干潟館では、展示のほかにエコクラフト体験も実施。木の実やペットボトルのキャップなど、身近な素材を使って工作しながら、ものを大切に暮らすを考える機会を提供しています。「ゴミは拾う前に、出さないことが大事」との考えのもと、環境との向き合い方も問い直します。

「押し花を作って、海外に帰るおじいちゃんにプレゼントしたい」という来館者のエピソードをうれしそうに話す佐川さん。スタッフには「子どもたちに答えをあげないで」と伝えています。「どうやって作るの?」という問いこそが学びの入り口であり、自ら考え、自ら試す体験が心に残るのだといいます。

「自然を知ることは、自分や町を守る力になる」、そんな思いのこもった干潟館。入場は無料です。ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

◀「いつの間にか、自然と干潟観察がライフワークになっていて」と佐川さん。



## 干潟の自然を体験! 「だいし水辺の楽校」

どなたでもお申し込みできる「だいし水辺の楽校」は、多摩川河口の自然を舞台に、干潟のいきものや野鳥、植物の観察会や釣りなどをとおして、自然と親しみ、楽しむ楽校です。およそ月に1度行われ、開催情報はチラシ『ひがたかんタイムズ』やホームページで発信されています。



▲暑い時期には涼しい橋下で活動します。

**7月26日(土) 干潟観察会**  
**8月9日(土) 干潟観察会と夏休み自由研究**

申し込みはイベント当日1か月前の朝8時からメールで受け付け。定員30人。

## 気づく力を育くむ展示

干潟館の展示は「なんだろう?」と感ずることから始まります。見て、触れて、自然のふしぎを楽しみながら発見できる工夫がいっぱいです。多摩川河口だけでなく、日本各地から集まった珍しいものに触ることができます。



耳にあてたら、波の音が聞こえるかな?

## 訪れるたび新たな発見、新たな学び



風車を回しながら、「風はどちらから吹いているの? 北風はなぜカラッとしているの?」と、風車作りをとっかかりに風について学ぶなど、楽しみながら学ぶ工夫がいたるところにあります。来館するたびに1枚ずつもらえる「ひがたのいきもの」カードは、表に写真、裏に説明があります。何度も訪れてカードを集めたら、ひがたのいきもの博士になれるかも♪

### ■大師河原水防センター (大師河原干潟館)

川崎区大師河原 1-1-15  
電話 044-287-7882

メールアドレス kaeru\_mako@yahoo.co.jp

(件名に干潟館、または、だいし水辺の楽校の件と記入)

開館日 水・木・土・日・祝日

開館時間 午前10時~午後4時

公式サイト



## KOSUGI iHUG コスギアイハグ

JR・東急線「武蔵小杉駅」下車  
JR 西口より徒歩約6分

## 「農・食・健康」でつながる場所

武蔵小杉で、都会にない体験ができる複合施設「コスギアイハグ」。川崎市と東レ建設株式会社が連携して進めてきた川崎市総合自治会館跡地等活用事業で、「農・食・健康」がテーマのコミュニティスペースとして、令和5(2023)年3月にオープンしました。東レ建設株式会社を代表企業とする共同事業体が整備・運営を行っています。

計画段階からプロジェクトに関わってきた東レ建設の久保さんは、「地域の方々が集まり、つながる“ふるさと”のような場所にしたいと思っています」と語ります。

敷地内には誰でも楽しく参加できる農業施設「トレファーム」があり、子どもから高齢者まで気軽に砂遊び感覚で農作業を体験できる環境が整っています。腰と同じくらいの高さのベッド(作業台)を設け、車いすでも作業が可能なバリアフリー設計も特徴です。

「食」の場としては、アウトドアダイニング棟1階に地産地消のダイニングを構え、肉一筋の精肉店、豊洲直送の鮮魚店、選りすぐりの農家の米を販売するお米屋さん、品ぞろえと味が自慢のキムチ・韓国食品店、トレファームの収穫野菜を使用したフレッシュスムージーをはじめ、アルコールなども販売するカフェが来店。週末には芝生広場にマルシェやフードトラックも登場します。

2階には地域交流スペース「N-Labo」が。水曜日の午前中は誰でも利用できる無料開放デーとなっており、月・木曜日の午前中は川崎市のシニア団体向けの無料利用枠も設けられています。

「健康」を担うのがウェルネスリビング棟。クリニックや薬局に加えて、注目したいのは産前産後ケアセンター「ヴィタリテハウス」です。助産師が24時間常駐し、お母さんたちが安心して過ごせる環境が整っており、今や川崎市内だけでなく国内外から利用者が訪れる人気施設となっています。

二ヶ領用水に隣接し、緑豊かな心地よい空間「コスギアイハグ」。名前には、「集まる」「憩う」「育む」の意味が込められています。週末にはさまざまなイベントも開催されており、「行ってみると何かある」場所です！

## 夏のにぎわい「コスギアイハグ夏まつり」

コスギアイハグが独自に開催する地域密着のイベント。令和5・6年と開催し、大盛況！夏まつりらしいさまざまな出店が並び、多くの家族連れでにぎわいました。今年も開催されます。皆さんもぜひ♪



▲会場には約2,000人が来場

## 2025 コスギアイハグ ならまつり

7月24日(木曜日) 17時~20時  
ガラガラ抽選会、輪投げなど

## 都会で気軽に農業体験！「トレファーム」



東レ建設が開発した「トレファーム」は、高床式の砂栽培によるシェア型ファーム。腰に負担が少なく、清潔で、子どもから高齢者まで安心して楽しめます。高層マンションを背景にした非日常の空間で、週1回の農作業体験やイベントを開催。地域のいろいろな人とつながる都市型の交流拠点です。

建設現場などの足場材で台を作成。水や肥料はIoTで管理。

IoT(Internet of Things)…さまざまなモノがインターネットにつながることで、相互に情報をやり取りする仕組み。

## 卸問屋直売所 コスギグリルマーケット

地元・全国の食材やトレファームの野菜を提供・販売するグリルマーケット。食材を購入して持ち帰ることも、購入した食材を店内のグリル付きテーブルで調理して楽しむこともできます。コース料理もあり、歓送迎会など、団体での利用も可能です。地産地消とフードロス削減にもひと役買っている、ステキなごはんスポットです。

予約などホーム  
ページを見てね

## ■ KOSUGI iHUG(コスギアイハグ)

中原区小杉町 3-24-10

ホームページ

<https://www.kosugiihug.jp>

# 高津で学び、地域とつながる

## 高津市民館 & フラザ橘(高津市民館・高津図書館橘分館)

令和7(2025)年4月1日より、高津市民館およびプラザ橘(高津市民館・高津図書館橘分館)については、当財団も参加している共同事業体「たかつ・未来共創パートナーズ」が指定管理者として運営しています。施設のホームページもリニューアルしました！



ホームページとInstagram



ホームページとInstagram

### 地域をつくる一人ひとりが

#### 地域とつながる活動拠点

ホール・会議室などの貸し出しをはじめ、年間を通じた多様な講座・イベントの開催など、あらゆる世代・立場の人が気軽に利用できる施設です。

#### 施設利用のご案内

- ・大ホール・大会議室は、館による「直接抽選」を実施しています。※ただし、川崎市施設予約システムふれあいネット登録後の利用者カードが必要です。
- ・会議室等はふれあいネットから抽選申込を行います。

**所在地** 高津区溝口 1-4-1 ノクティプラザ 2  
(11階・12階) ※受付窓口は11階

**開館時間** 午前9時～午後9時

**休館日** 毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日休)/年末年始

**電話番号** 044-814-7603

**メールアドレス** info@takatsu-shiminkan.jp

市民館で開催する多様な講座・イベントについて、ホームページ、Instagramで最新の情報を発信しています。ぜひご利用ください！

### 集い、学び合う、貸室・講座と

#### 読書の楽しみに出会える場

市民館・図書館の分館として、学習室などの貸し出しのほか、多様な講座・イベントを開催しています。図書館では、本を読む、借りることはもちろん、調べもののお手伝いもしています。

#### 施設利用のご案内

- ・川崎市施設予約システムふれあいネットに利用者登録後、利用者端末・パソコン等で抽選申込・随時予約が可能です。

**所在地** 高津区久末 2012-1 プラザ橘

**開館時間** 午前9時～午後9時(図書館は午後6時まで)

**休館日** 毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日休)/年末年始  
蔵書点検日(図書館のみ)ほか

**電話番号** 044-788-1531

**メールアドレス** kanri@plaza-tachibana.jp

## シニア向け無料開放テ- 生涯学習プラザ 202 会議室 夜間貸出

川崎市民向けに、毎週火曜日・金曜日にグループ活動での無料貸出を2時間単位で行っています。今年度から、夜間(午後5時～9時)も増えましたので、是非ご利用ください。



▲会議・勉強会では机を使って



▲運動などは机を片付けて

利用資格：

- ・川崎市内在住の方
- ・2名以上のグループ  
(概ね半数が60歳以上)

シニアの方でのフィットネス・  
体操・ダンス・健康麻雀・  
会議・勉強会などにどうぞ！



詳細はこちら

マット、姿見の移動鏡、健康麻雀道具、CDラジカセなど無料貸出あります♪

■ (公財)川崎市生涯学習財団 総務係  
電話 044-733-5560

## ◆お楽しみコーナー

### Stage Up 254号クイズに答えよう！

川崎区の殿町地区と羽田空港をつなぐ  
「多摩川○○○○○○」は  
令和4(2022)年3月12日に開通しました。

下の○にあてはまる言葉を入れてください。

『○○○○○○』 ※ヒント p.5



#### 【応募方法】

左記の二次元コードから解答フォームへアクセス、または、①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Up の入手場所 ⑤Stage Up254号で良かった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで応募してください。

※締切 2025年8月12日(火) 必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈  
(発表は発送に代えさせていただきます)

〒211-0064 中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up (ステージアップ) 担当

Eメール: stage-up@kpal.or.jp

TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。



☆253号のクイズの答え・・・2つ